

アジアパラでメダル4個 水泳の中島啓智選手

インドネシアで行われた2018アジアパラ競技大会の水泳競技でメダル4個を獲得した市内谷津在住の中島啓智選手が10月18日、習志野市役所を訪れ、宮本市長に報告した。

アジアパラ大会は10月6日から13日まで開かれ、中島選手は知的障害者部門の100m背泳ぎと100mバタフライで銀メダル、200m自由形と200m個



中島啓智選手(左)と宮本市長

得するなど活躍している。所属するあいおいニッセイ同和損害保険株式会社千葉北支店の加川克仁支店長らと表敬した中島選手は「金メダルを取れる期待はあったが、僅差で銀、銅になった。代表選考会までの1年間でさらに強化をして、世界で戦える力を身につけたいと思います。東京パラリンピックでは2位に差をつけられるようしっかりと追い込んで、がんばっていきなさい」と話した。宮本市長は「これからも好きなことに取り組む中で、さらにいい色のメダルを取れるようがんばってほしい」と励ました。

君は昭和を知っているか 市民プラザで座談会



懐かしい足踏みミシンなどを展示

市民プラザ大久保で9月9日まで企画展「君は昭和を知っているか 昭和20〜30年代の大久保」が開かれた。市民プラザではこれまで「習志野と太平洋戦争を考へる」あの運命の日、8月15日を挟む星霜の日々や「習志野騎兵旅団物語」栗林氏、西氏を偲ぶ「硫黄島の戦い70周年」などで、史実を見つめ、戦争と平和について考える企画展を開催してきた。また「習志野を懐かしく思う大勢の人たちが訪れた。

フルートの音で優雅な時 市役所で「街かど音楽会」



フルートアンサンブル「ドライフルーツ」

習志野文化ホール・メロニサートは4月に次いで2日、習志野市役所市庁舎で「街かど音楽会」が9月28日、市庁舎グラウンドフロア・ハミング階段で開かれた。

長、坂井元昭さんが昭和の大久保を紹介した。三橋理事長は連隊とともに成長したし、戦後は雑貨や布団など生活用品を主体にした商店街の変遷を説明。坂井さんは「乾杯の歌」の軽やかな音色に始まり、バッハの「3声のシンフォニア」ではパートにわかれ、重厚な響きをフルートで表現。「荒城の月」から八木澤教司や三浦真理の現代曲まで幅広く奏でた。チャイコフスキーのバレエ音楽「くるみ割り人形」から「花のワルツ」で、優雅な30分は締めくくられた。たまたま立ち寄ったという女性は「素敵な演奏を楽しみました」と話していた。

世代を越え「バラの街」音楽会



谷津小学校管弦楽クラブ

谷津公民館地区学習会「谷津ローズフォーラム」と谷津公民館主催の「バラの街」音楽会が9月15日、向山小学校体育館で開かれた。向山幼稚園、谷津幼稚園、谷津南小学校音楽部、向山小学校吹奏楽部、第一小学校管弦楽クラブ、第一中学校管弦楽部に谷津公民館サークルの竹露の会が出演。7回目を迎えた演奏会も世代を越えた地域の力を発揮して催された。

千葉マンバーが贈るクリスマスコンサートが12月22日の午後2時(昼の部)と5時(夜の部)から、モリシアホールで開かれる。習志野シンフォニエッタ千葉マンバーによる自宅の居間でくつろぐように楽しめるクリスマスコンサート。昼の部は親子向け、夜の部は大人向け。絵本やワインの販売もある。演奏はフルートの宮崎由美香、クラリネットの横川晴児、チェロの川井真由美、ピアノの藤田朝子の各氏。演奏予定曲はバッハの「管弦楽組曲」より、ラフマニノフの「チェロソナタ」から、メンデルスゾーンの「歌の翼による幻想曲」、ブルッフの「8つの小品」より、(夜の部のみ)マサネの組曲「アルザスの風景」より「菩提樹の下で」。

6度目の全国制覇 空手道の根本敬介五段

全国空手道選手権大会で6回目の優勝を果たした根本敬介五段の優勝祝賀会が10月20日に催された。

内閣総理大臣杯第61回全国空手道選手権大会は6月に開かれ、根本選手は個人戦・組手の部の一般男子で優勝を果たした。史上最多となる6度の全国制覇は前人未到といえる。

平成22年の53回大会で初優勝。55回大会からは57回大会で準優勝となったものの、59回大会までの間に4度の優勝を飾った。母校の千葉工業大学で後進を指導

する一方、公益社団法人日本空手協会の師範を務める。祝賀会で発起人を代表して千葉工業大学空手部習志野会の真崎伸一会長は「昨年はケガで出場できなかったが、9度の全国大会で6度の優勝をつかみ、谷山卓也先生の5回の優勝記録を塗り替えた。複数回の優勝者は歴史に名を刻むような世界の空手家が連なっており、OB会としても名誉でうれしく感じています。空手の道はまだ奥が深い。世界的には指導を仰が



内閣総理大臣杯に輝く根本敬介五段

プログラミングを楽しく 親子体験教室開かれる



コマンドを打ち込みロボットを動かす小学生

小学生を対象にしたロボットプログラミングの体験会が9月から谷津1丁目のhvala room(フバールーム)で開かれた。

タミヤロボットスクール津田沼教室では、プログラミングを楽しく学ぶコースの入会募集のため、親子で体験する機会を設け、BA

SIC言語によるプログラミングの基礎を紹介した。コースはキーボードを使い、自分で製作したロボットを思い通りに動かすことで、プログラミングが学べるようになる。催した飯島慎一さんは「プログラミングを学ぶことで、その先にはアイデア一つで商品、サービスを生み出せ、アプリ一つで世界を変えることができる。将来は起業してもらいたい」と語る。

「ならしの朝日」では愛読者プレゼントの申し込みがスタート。申し込みは、抽選となります。11月10日消印まで有効です。希望者は官製ハガキに住所、氏名、希望する申し込みを明記し、〒275-0026 習志野市谷津4-1-37「ならしの朝日」まで申し込んで下さい。ハガキは一つのプレゼントにつき一紙一枚に限らせて

朝日カルチャー 朝日カルチャーセンター千葉では11月13日午後2時から3時30分まで、作家の下重晴子氏を迎え、講演会

愛読者プレゼント

「極上の孤独」を開く。会場は三井カードホテル千葉(JR千葉駅東口・京成千葉中央駅徒歩8分。詳細は4面「秋の講座を承り中! 朝日カルチャーセンター千葉」。入場料は3564円。申込・問合せは朝日カルチャーセンター千葉(電話043-227-0131)。